

# モバイル セキュリティ 最前線

モバイルパソコンを安全に使うために必要なセキュリティ対策を解説する本講座。今回はセキュリティを強化する周辺機器や対策グッズを紹介する。セキュリティ機能付きのUSBメモリーやポータブルHDDをはじめ、さまざまな製品が登場している。何がどんな場面で有効に使えるのか、種類別に解説する。

(中村 仁美=ライター、構成:アーキテクチャー)

## 第5回: セキュリティを強化する周辺機器

オフィス内で活用する場合に比べ、盗難や紛失、置き忘れ、のぞき見などによる情報漏洩(ろうえい)のリスクが高まる外出先でのパソコン活用。そんなモバイルシーンにおけるリスクを軽減する工夫は、何もパソコン本体だけのものとは限らない。導入することでセキュリティを高める、さまざまな周辺機器やグッズが登場している。

図1に挙げたセキュリティ機能付きUSBメモリーや暗号化HDD、外付けの認証デバイス、のぞき見防止フィルター、ワイヤー式ロック、セキュリティ対応バッグなどはその一例だ。モバイルセキュリティに「さらなる安心」をプラスするこれらのアイテムが、一体どんな場面で効果を発揮するのか、順に見ていこう。

まずUSBメモリーだ。パソコンのUSB端子に挿すだけですぐに使える手軽さに加え、大容量化が図られているため、モバイルにおけるバックアップ媒体として欠かせない存在だ。重要な仕事のデータや、中には個人情報や機密情報を保存していることもあるだろう。

しかし、USBメモリーも持ち歩くことが前提の媒体である。たとえパソコン本体が無事であっても、同じデータを入れてあるUSBメモリーを

盗まれたり、無くしたりしたら何にもならない。そんなリスクを軽減するためにも、セキュリティ機能を備えたUSBメモリーを選びたい。

セキュリティ機能付きUSBメモリーには、暗号化機能を搭載したもの、指紋センサーを搭載したものなど、いろいろな種類がある。ニーズによって使い分けたいところだ。

### USBメモリーも暗号化

暗号化機能を搭載したUSBメモリーでは、書き込まれたデータを自動的に暗号化する。USBメモリーへ

アクセスするときには、パスワードが求められるのだ。万一、盗まれたとしてもパスワード認証と暗号化という2つの対策が破られなければ、データにアクセスされない。

暗号化がソフトウェア方式なのか、ハードウェア方式なのかという点はチェックしたい。というのも、ハードウェア方式は内部に搭載した専用チップで暗号化するので、処理がより安全かつ高速に行えるからだ。ソフトウェア方式の場合は、暗号化ソフトが記憶領域の一部を占有するために実際の使用容量が少なくなるが、

### ●セキュリティを強化するさまざまなアイテム

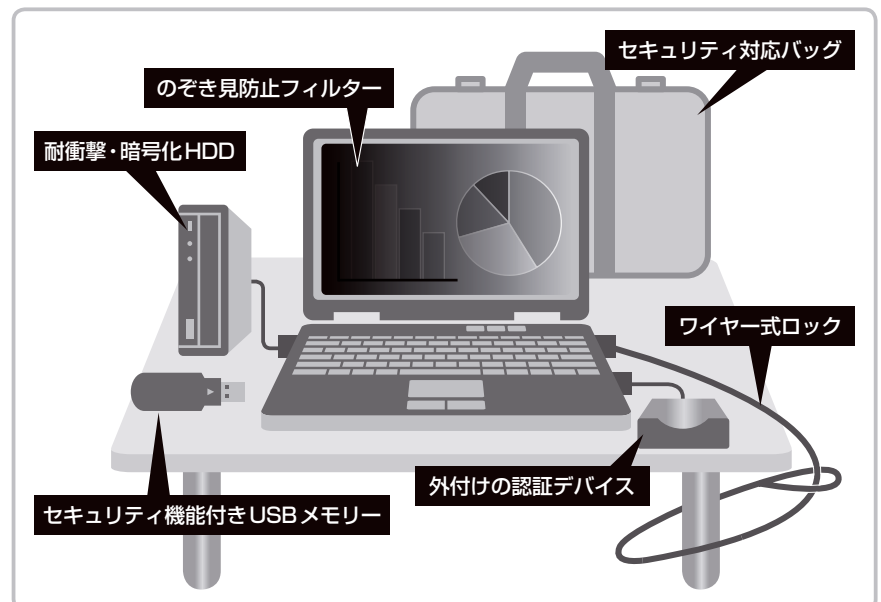


図1 モバイルパソコンのセキュリティを強化する、さまざまなアイテムが登場している。データを守りたい、盗難を防止したいなど、自分のニーズに応じて効果的なものを導入しよう